

# 3月のどきいふ



## 「歴史木」を加工し寄贈

明治33年の安平村開村を機に有志が植えたカラマツが、倒木の危険があるとして昨年10月に伐採した後、切分けられ、町内の希望者に配られました。

配布された「歴史ある」材木で宮下政信さん(早来大町)がテーブル1台といす2脚に加工し、3月2日に町に寄贈しました。テーブルは重量約

80kgでいすは1脚約50kg。宮下さんは「こぶを残し、木目の色を生かすように配慮し、木が割れないように注意しました」と話していました。テーブルセットは早来庁舎1階の会計課前に設置しています。

## ロビーで音楽の調べ

3月4日と23日に追分公民館ロビーでクラシックコンサートとソプラノデュオコンサートが行なわれ、フルートやオーボエの音色や美しい歌声が館内に響きました。

出演したメンバーは北海道教育大学の大学院生や道内で活躍している皆さんです。安平町出身の根深夏さんが地元の魅力を話したことがきっかけで、ぜひ公民館でコンサートを実施したいと教育委員会に相談して実現したといいます。

活動の機会を得た皆さんは日ごろの練習の成果を聴衆の前で披露していました。

## アンガス牛は我がチームに

3月7日 早来研修センターでフットサルの大会が行われました。参加したのは小学生から一般までのチームが年齢や体格差なく対戦し、副賞のアンガス牛を獲得するため、白熱した試合が繰り広げられ優勝を目指しました。室内で行われるということもあり、観衆も飛んでくるボールから目が離せない中で会場は熱気で包まれていました。



根深さん(右から4人目) ※3月4日撮影

## 早来富岡勢が小学生の部・一般の部を制覇

3月7日 今年で第4回目となる安平町アイスゲット大会がせいこドームで開催され、小学生12チーム一般8チームが参加し氷上で熱戦を繰り広げました。思いどおりに歩けない氷の上。転倒覚悟でボールを追いかけバランスをとりながらシュートを狙うも、空振りやゴールポストをかすめるシーンが多く見られました。予選ブロックを上位で通過した富岡地区の小学生チーム、一般がそれぞれ優勝しました。



## 将来の夢をふくらませるお手伝いを

3月16日 早来ライオンズクラブ上田 陽会長と宮本会員が早来中学校を訪れ書籍を寄贈しました。

青少年健全育成を目的に行われているこの活動は年1回行われ、今年で8回目となりました。寄贈された書籍は図書室にあるライオンズクラブ文庫に納められ生徒の学習資料として広く利用されています。今年も、職業や起業に関する将来に役立つための書籍や高校入試に関するものでした。



学校では総合的な学習に取り組んでいるため、幅広い分野の書籍が必要だと荒谷校長先生は感謝の意を示し、なりたい職業や将来の夢を持つ手助けになればと上田会長は話されていました。